

食品安全委員会の運営について（令和3年10月から令和3年12月まで）

1. 食品安全委員会の開催

10月：834回・835回・836回・837回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（1案件4品目）

添加物（1品目）	・硫酸銅
遺伝子組換え食品等（3品目）	・JPAN004株を利用して生産されたα-アミラーゼ ・CIT-No. 1株を利用して生産されたL-シトルリン ・VAL-No. 5株を利用して生産されたL-バリン
肥料（1案件）	・肥料の品質の確保等に関する法律第3条第1項の規定に基づく普通肥料の公定規格の改正について（草木由来のバイオマス燃焼灰及び熔成けい酸質肥料）

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（1案件8品目）

添加物（1品目）	・炭酸水素カリウム <u>適切に使用される場合、安全性に懸念がないと考えられ、許容一日摂取量（ADI）を特定する必要はない。</u>
農薬（4品目）	・アフィドピロペン <u>ADIを0.08 mg/kg体重/日、ARfDを0.18 mg/kg体重と設定。</u> ・ペンシクロン <u>ADIを0.053 mg/kg体重/日と設定、ARfDは設定する必要がないと判断。</u> ・テトラコナゾール <u>ADIを0.004 mg/kg体重/日、ARfDを0.05 mg/kg体重と設定。</u> ・フロメトキン <u>ADIを0.008 mg/kg体重/日、ARfDを0.044 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（3品目）	・カルバドックス <u>これまで国内外においてADIの設定が行われておらず、遺伝毒性発がん物質であることが否定できず、毒性学的な閾値の設定はできないことから、『暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について』の3の（2）に該当する。</u> <u>本成分は、規格基準において『食品に含有されるものであってはならない。』として規定されており、不検出として管理されていることから、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u> ・ニフルスチレン酸ナトリウム <u>これまで国内外においてADIの設定が行われておらず、遺伝毒性発がん物質であることが否定できず、毒性学的な閾値の</u>

	<p>設定はできないことから、『<u>暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について</u>』の3の(2)に該当する。</p> <p>本成分は、規格基準において『<u>食品に含有されるものであってはならない。</u>』とは規定されておらず、不検出として管理されていないことから、その食品健康影響は無視できる程度と考えることはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ロキサルソン <p>これまで国内外においてADIの設定が行われておらず、遺伝毒性発がん物質であることが否定できず、毒性学的な閾値の設定はできないことから、『<u>暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について</u>』の3の(2)に該当する。</p> <p>本成分は、規格基準において『<u>食品に含有されるものであってはならない。</u>』とは規定されておらず、不検出として管理されていないことから、その食品健康影響は無視できる程度と考えることはできない。</p>
<p>肥料（1案件）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 肥料の品質の確保等に関する法律第3条第1項の規定に基づく普通肥料の公定規格の改正について（草木由来のバイオマス燃焼灰及び熔成けい酸質肥料） <p><u>草木由来のバイオマス燃焼灰についての改正は、長年農業生産現場で肥料又は肥料の原料として使用されており、人の健康に悪影響を及ぼすことが認められていない草木灰のうち、人の健康に悪影響を及ぼす可能性が特に低いものを肥料の原料の規格として追加するものである。また、本改正により新たに使用が認められるようになる肥料については、既に公定規格が定められている副産肥料等と同等の有害成分に関する規制を設けることとしているため、本改正により、現状と比較して、農作物の摂取を通じて、人の健康に悪影響を及ぼす重金属にばく露されるおそれはない。このため、現行規定と同等の安全性が確保されることから、本改正により人の健康に悪影響を及ぼすおそれはないと考えられる。</u></p> <p><u>熔成けい酸質肥料についての改正により新設する肥料の原料は、重金属の含有量が十分に低い。また、本肥料は、原料及び製法が類似する肥料（鉍さいけい酸質肥料及び熔成汚泥灰けい酸りん肥等）と同等の有害成分に関する規制を設けることとしているため、本改正により、現状と比較して、農作物の摂取を通じて、人の健康に悪影響を及ぼす重金属にばく露されるおそれはない。このため、現行の規定と同等の安全性が確保されることから、本改正により人の健康に悪影響を及ぼすおそれはないと考えられる。</u></p>

(3) その他

- ・「ゲノム編集技術を利用して得られた魚類をめぐる動きについて」を報告
- ・「令和3年度食品健康影響評価技術研究の2次公募における採択課題について」を決定。

11月：第838回・839回・840回（3回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（2品目）

動物用医薬品（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏コクシジウム感染症(ブルネッティ・ネカトリックス)混合生ワクチン(日生研鶏コクシ弱毒2価生ワクチン (BN))
遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（7品目）

農薬（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・イプロジオン <u>ADIを0.02 mg/kg体重/日、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.9 mg/kg体重と設定し、一般の集団に対するARfDは設定する必要がないと判断した。</u> ・アブシシン酸 <u>農薬として想定しうる使用方法に基づき通常使用される限りにおいて、食品に残留することにより人の健康を損なうおそれのないことが明らかであると考えられる。</u> ・エトフェンプロックス <u>ADIを0.031 mg/kg体重/日、ARfDを1 mg/kg体重と設定。</u>
動物用医薬品（3品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏コクシジウム感染症(ブルネッティ・ネカトリックス)混合生ワクチン(日生研鶏コクシ弱毒2価生ワクチン (BN)) <u>本製剤が適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できると考えられることから、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u> ・塩化ジデシルジメチルアンモニウム <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(1)に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、その食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u> ・ニタルソン <u>ニタルソンは、これまで国内外においてADIの設定が行われておらず、遺伝毒性発がん物質であることが否定できず、毒性学的な閾値の設定はできないことから、「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3の(2)に該当する。</u> <u>本成分は、規格基準において「食品に含有されるものであってはならない。」とは規定されておらず、不検出として管理されていないことから、その食品健康影響は無視できる程度と考えることはできない。</u>

遺伝子組換え食品等（1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・LFS株を利用して生産されたリパーゼ <u>「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準」に基づき評価した結果、ヒトの健康を損なうおそれはないと判断した。</u>
----------------	--

(3) その他

- ・「食品安全委員会の運営について（令和3年7月から9月まで）」を報告
- ・「令和4年度食品安全モニターの募集について」を報告

12月：第841回・842回・843回（3回）

(1) 食品健康影響評価の要請案件（2案件、9品目）

農薬（8品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・1,4-ジメチルナフタレン ・アセキノシル ・トリネキサパックエチル ・トリフルミゾール ・ピラジフルミド ・フルエンズルホン ・フルトリアホール ・フロニカミド
動物用医薬品（2案件、1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の5第1項の規定に基づく農林水産省令の改正について ・牛伝染性鼻気管炎・牛パラインフルエンザ混合生ワクチン（ティーエスブイ2） ・動物用ワクチンの添加剤として使用する成分（硫酸マンガン）

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件等（1案件、3品目）

動物用医薬品（1案件、1品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の5第1項の規定に基づく農林水産省令の改正について <u>本改正は、人が食品を通じてゲンチアナバイオレットにばく露される効果をもたらすものではないことから、人の健康に悪影響を及ぼすおそれはなく、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u> ・牛伝染性鼻気管炎・牛パラインフルエンザ混合生ワクチン（ティーエスブイ2） <u>本製剤の再審査については、食品安全基本法第11条第1項第2号の人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるときに該当すると認められる。</u>
遺伝子組換え食品等（2品目）	<ul style="list-style-type: none"> ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統（食品） <u>「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に基づき評価した結果、人の健康を損なうおそれはないと判断した。</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ・チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統（飼料） <u>「遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方」に基づき評価した結果、改めて「遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準」に準じて安全性評価を行う必要はなく、当該飼料を摂取した家畜に由来する畜産物について安全上の問題はないと判断した。</u>
--	--

(3) その他

2. 専門調査会等の運営（全25回）

専門調査会等名	開催回数	調査審議案件
企画等	1回	・座長の選出、座長代理の指名、令和3年度食品安全委員会運営計画の実施状況の中間報告について、令和3年度食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補の選定について
農薬第二	3回	・グルホシネート
農薬第四	1回	・パラコート
農薬第五	1回	・アラニカルブ
動物用医薬品	1回	・座長の選出、座長代理の指名、グリカルピラミド
汚染物質等専門調査会	1回	・座長の選出、座長代理の指名 ・カドミウム
器具・容器包装専門調査会	1回	・座長の選出、座長代理の指名、食品用器具及び容器包装のポジティブリスト制度に係る動向
微生物・ウイルス	1回	・座長の選出、座長代理の指名、微生物評価指針の改訂
遺伝子組換え食品等	5回	・座長の選出、座長代理の指名 ・ゲノム編集魚類 ・バリリン、シトルリン ・ナタネ、プロテアーゼ ・アミラーゼ、グルコシルトランスフェラーゼ
肥料・飼料等	2回	・座長の選出、座長代理の指名 ・クロキサシリン ・ジアベリジン、QSAR利用について、クエン酸等
栄養成分関連添加物ワーキンググループ	2回	・座長の選出、座長代理の指名 ・25-ヒドロキシコレカルシフェロール
薬剤耐性菌ワーキンググループ	2回	・座長の選出、座長代理の指名、養殖水産動物に使用する抗菌性物質の評価の進め方 ・評価指針改訂、重要度ランク改訂
ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループ	2回	・フェロシアン化カリウム ・硫酸銅
評価技術企画	2回	・座長の選出、座長代理の指名 ・BMD指針を補完する手引きの作成について ・WGの今期の進め方について、BMD指針を補完する手引きの作成について

3. 意見交換会の開催等

(1) 意見交換会 (全6回)

開催日	開催地	意見交換会名	共催団体	主な対象者
10/15	滋賀県	食品に関するリスクコミュニケーション 「一緒に未来を考える～食品中の放射性物質～」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	大学生（立命館大学）
11/3	東京都	おいしいにっぽんフェス2021 食の安全・安心を学ぼう！	消費者庁、厚生労働省、農林水産省	一般消費者
11/16	動画配信	食品に関するリスクコミュニケーション 「一緒に未来を考える～食品中の放射性物質～」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	一般消費者
11/18	福岡県	食品に関するリスクコミュニケーション 「一緒に未来を考える～食品中の放射性物質～」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	大学生（産業医科大学）
12/1	web開催	「加熱不足による食中毒を防ぎたい～肉を安全に調理するポイント」 *香西委員	—	報道関係者
12/23	動画配信	食品に関するリスクコミュニケーション 「一緒に未来を考える～食品中の放射性物質～」	消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省	大学生（東京農業大学）

(2) 講座 (全2回)

開催日	開催地	講座名	対象者
10/28	web開催	食品安全セミナー「テーマ：農薬の再評価」 *質疑応答対応：浅野委員	食品関連事業者等
12/15	web開催	食品安全モニターセミナー 評価書「アレルギーを含む食品（卵）」解説	食品安全モニター

(3) 講師派遣 (全11回、うち委員7回)

開催日	開催地	講演会名	依頼者	対象者
10/19	動画配信	せたがや食品衛生講座①知りたい！聞きたい！食品添加物のこと	世田谷区	一般消費者
10/21	web開催	2021 International Workshop for Non-animal Approaches in Food Sector *川西委員	国際生命科学研究機構	会員
11/1	富山県	食品安全フォーラムinとやま *山本委員長	富山県	一般消費者
11/13	web開催	食の安全学習会 ～食品添加物について考えてみよう～	三重県、コープみえ	一般消費者
11/25	web開催	食の安全を確保するための微生物検査協議会 第17回研修会 *山本委員長	食の安全を確保するための微生物検査協議会	会員、一般消費者
11/25	web開催	リスクコミュニケーション「『健康食品』について安全な選択をするために」 *脇委員	京都府	一般消費者
11/26	栃木県	「公衆衛生学」第14回講義 [公衆衛生行政] *浅野委員	国際医療福祉大学	学生
12/1	神奈川県	令和3年度 消費生活相談員研修 専門・事例講座 製品安全に関する消費者トラブルー子どもの事故、食品や自動車等、幅広い相談対応のために	国民生活センター	消費者行政職員及び消費生活相談員
12/9	栃木県	ゲノム編集食品等の安全性審査を学ぶ～みんなで、こわがらないで、考えてみましょう～	栃木県	一般消費者
12/17	静岡県	品質管理学 *山本委員長	東海大学	学生
12/22	web開催	「農薬について考えよう」～農薬のリスク評価の仕組み、再評価制度について～ *浅野委員	全国消費者団体連絡会	消費者団体関係者、一般消費者

(4) 訪問学習 (全2回)

開催日	内容	対象者	依頼者
10/29	食品の安全を守る枠組み (動画配信)	食品安全行政担当者	JICA北九州
12/17	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の安全を守る仕組み ・食品添加物の安全性について ・「健康食品」について 安全な選択をするために ・リスクを俯瞰的に捉える (web開催) 	大学生	慶應義塾大学

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

健康に被害を及ぼすおそれのある案件、国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■10月：16記事

閲覧数 (Facebook) 19,707件/月、(ブログ) 1,503件/月

投稿日	記事内容
1	<p>【食品安全委員会 今週の公表事項 0927-1001】</p> <p>「添加物に関する食品健康影響評価指針」を全部改正しました。</p>
4	沖縄県との共催で、調理科の高校生を対象としたリスクコミュニケーションを開催しました (9月30日)
6	昨日開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
8	<p>【食品安全委員会 今週の公表事項 1004-1008】</p> <p>【「鶏肉の低温調理」の動画を公開しました&Twitter はじめました】</p>
11	令和3年度調査事業「特定の新規食品の安全性評価手法等に関する調査」の公募について (期間：10月29日 (金) 12:00 まで)
13	昨日開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
15	【食品安全委員会 今週の公表事項 1011-1015】
20	昨日開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。

22	【食品安全委員会 今週の公表事項 1018-1022】
25	旬のギンナンも食べ過ぎに注意！
26	【キッズボックス】食べ物の加熱、「焦げ色」に気をつけて！（2021年10月号）
27	昨日開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
29	【食品安全委員会 今週の公表事項 1025-1029】
	【編集後記：神無月】ノロウイルスの特徴を理解する、食中毒を防ぐ～動画のご紹介～

■11月：15記事

閲覧数（Facebook）19,046件/月、（ブログ）1,339件/月

投稿日	記事内容
2	【食品安全セミナー「農薬の再評価」を開催しました（10月28日）】
4	11月2日に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
5	【食品安全委員会 今週の公表事項 1101-1105】
10	秋田県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
12	今月は薬剤耐性（AMR）対策推進月間です！
	【食品安全委員会 今週の公表事項 1108-1112】
13	鹿児島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
16	【「豚肉の低温調理」の動画を公開しました】
17	兵庫県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
	11月16日に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
19	【食品安全委員会 今週の公表事項 1115-1119】
22	三重県等との共催で、食品添加物に関するリスクコミュニケーションを開催しました（11月13日）
24	【キッズボックス】食べ物による窒息事故に注意！（2021年11月号）
26	【食品安全委員会 今週の公表事項 1122-1126】

30 【編集後記：霜月】低温調理動画、好評です！

■12月：22記事

閲覧数（Facebook）24,089件/月、（ブログ）1,352件/月

投稿日	記事内容
1	11月30日に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 【食品安全モニターの募集を開始しました】
3	熊本県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について 【食品安全委員会 今週の公表事項 1129-1203】
5	千葉県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
6	【「食品安全関係素材集」を公開しました】
7	埼玉県及び広島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
8	12月7日に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
10	【食品安全委員会 今週の公表事項 1206-1210】
12	青森県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について
13	【「牛肉の低温調理」の動画を公開しました】
15	12月14日に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
17	【キッズボックス】正しい手洗いで元気に過ごそう！（2021年12月号） 【食品安全委員会 今週の公表事項 1213-1217】
20	【食品安全モニター募集中】
22	12月21日に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。
24	「肉を低温でおいしく調理するコツをお教えします！」のページを公開しました "Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 9, Number 4 has just been published 食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 9, No.4 を公開しました。

27	【食品安全モニター募集中】
28	【編集後記：師走】年末のご挨拶
31	愛媛県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

(2) Twitter

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近で関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■10月：8記事

閲覧数99,279件/月、フォロワー823人

投稿日	記事内容
4	こんにちは。内閣府食品安全委員会事務局広報担当です。
6	まずは自己紹介から。内閣府食品安全委員会は食品による健康への影響を科学的に評価している組織です。
7	キノコが美味しい季節ですね。 低温調理で作ったサラダチキンや鶏ハム、おいしいですね！
15	今日は「#世界手洗いの日」です。
19	カレーを保存するときは、小分けにして冷やし、#ウェルシュ菌 による #食中毒を予防 しましょう。
21	「#おいしいにつぼんフェス2021」には#食品安全委員会 も出展します。
26	茶色く加熱されたフライドポテトやトースト、おいしそうですね。

■11月：7記事

閲覧数66,836件/月、フォロワー865人

投稿日	記事内容
5	食品安全委員会もイベントに参加しました。
9	だんだん寒くなってきました。
16	#低温調理 で作った #ローストポーク や #チャーシュー は、豚肉の柔らかでジューシーな美味しさが魅力！ 今年度も食品中の放射性物質についてオンライン意見交換会を開催しています。

17	豚肉編のほか、鶏肉編も作っています。
24	クリスマスや年末年始、いろいろな人が集まる場所で #窒息 #事故 が起きないように備えましょう。
25	これまで #遺伝毒性 のある #食品添加物 や #農薬 が市場に出回ることはありませんでしたが、今後流通する可能性があるのでしょうか。

■12月：8記事

閲覧数82,035件/月、フォロワー916人

投稿日	記事内容
1	【食品安全モニターを募集します】
10	#ノロウイルス による食中毒が増える季節です。
13	#クリスマス や #お正月 のご馳走に #低温調理 で作った #ローストビーフ はいかが？
17	空気が乾燥する #冬 は #ウイルス が大好きな季節。
20	鶏肉はしっかり加熱して食べましょう！
	【食品安全モニター募集中】
21	#クリスマス が近づいてきてお肉の調理方法の注意点の報道が増えてきました。
27	【食品安全モニター募集中】

(3) YouTube

食品の安全性に関する科学的な知識の普及啓発や、その他食品の安全に関する情報についての動画による情報発信

(10～12月に公開した動画の合計視聴回数5,602回、チャンネル登録者数 596人)

公開月日	記事内容	視聴回数 (公開日～R4.1.20)
10月 7日	鶏肉の低温調理「安全に美味しく食べ物を調理しよう」	2,544回
11月16日	豚肉の低温調理「安全に美味しく食べ物を調理しよう」	1,779回

12月13日	牛肉の低温調理「安全に美味しく食べ物を調理しよう」	1,279回
--------	---------------------------	--------

食品健康影響評価の審議状況

2021/12/24

区分	諮問案件						自ら評価 評価終了 注5)
	要請件数 注1、2)	うち 令和3年度分	審議中 注3)	意見 募集中 注4)	評価終了 件数	うち 令和3年 度分	
添加物	300	4	2	2	296	1	
栄養成分添加物	2		1		1		
香料	7				7		
農薬	1311	28	145	1	1165	45	
うちポジティブリスト関係	543		132		411	7	
うち清涼飲料水	25				25		
うち飼料中の残留農薬基準	59		17		42	2	
動物用医薬品	640	8	19	1	620	14	3
うちポジティブリスト関係	137		18	1	118	4	
器具・容器包装	21		1		20	1	
汚染物質等	68		1		67	1	4
うち清涼飲料水	52				52	1	
微生物・ウイルス	21				21		2
プリオン	67		8		59		14
かび毒・自然毒	9				9		5
遺伝子組換え食品等	363	16	23	7	333	21	
新開発食品	91				91		3
肥料・飼料等	312	2	36	3	273	14	
うちポジティブリスト関係	143		31	2	110	9	
薬剤耐性菌	69		8		61	3	2
高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG	1				1		
食品による窒息事故に関するWG	1				1		
放射性物質の食品健康影響に関するWG	2				2		
アレルギーを含む食品に関するWG							1
その他(指定成分、アルミニウム等)	2				2		2
合計	3287	58	244	14	3029	100	36

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
 2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
 3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
 4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
 5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
 6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
 7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2021年12月24日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2003/12/8	農	薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルフォアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。）	3
2004/10/29	農	動物用医薬品 アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン）[肥][耐]、動物用医薬品 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）[耐]	3
2005/2/14	厚	農薬 ジコホール	1
2005/8/5	農	動物用医薬品 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラル液）[肥]、動物用医薬品 ホスホマイシンを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用））[耐]	2
2005/9/13	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール[肥]	1
2006/7/18	厚	動物用医薬品 スルファメトキサゾール☆[肥]	1
2006/7/18	厚	農薬 ジコホール☆	1
2006/12/19	厚	農薬 フリラゾール☆	1
2007/1/12	厚	農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆	2
2007/2/6	厚	農薬 スピロキサミン☆	1
2007/2/6	厚	動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン、スルフイソゾール	3
2007/3/6	厚	農薬 トリチコナゾール☆	1
2007/3/6	厚	動物用医薬品 イソシンコメロン酸二プロピル☆	1
2007/3/20	厚	動物用医薬品 スルファチアゾール☆[肥]、スルファジメトキシ☆[肥]、スルファモメトキシ☆[肥]	3
2007/6/5	厚	農薬 メソスルフロメチル☆、スルフェントラゾン☆	2
2007/8/28	厚	動物用医薬品 ジクロキサシリン☆[肥]	1
2007/10/2	厚	農薬 ジクロメジン<一部>☆	2
2007/12/18	厚	農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆	2
2008/3/11	厚	農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム	2
2008/3/25	厚	農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロ、ピリデート、フッ化スルフリル	4
2008/6/3	厚	動物用医薬品 トビシリン[肥]	1
2008/7/8	厚	農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆	2
2008/7/8	厚	器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※	1
2008/9/5	厚	器具・容器包装 カドミウム	1
2009/2/3	厚	農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆	2
2009/2/9	厚	農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆	7
2009/3/24	厚	農薬 パラチオンメチル☆、フェナミホス☆	2
2009/3/24	厚	農薬及び動物用医薬品 ジクロロボス及びナレド☆	2
2010/2/16	厚	対象外物質 アスタキサンチン☆[肥]、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆[肥]、β-カロテン☆[肥]、クエン酸☆[肥]、酒石酸☆[肥]、トウガラシ色素☆[肥]、乳酸☆<農薬用途もあり>[肥]、マリーゴールド色素☆[肥]、メナジオン☆[肥]、レチノール☆[肥]	11
2010/3/1	厚	農薬 フルロキシピル☆	1
2010/5/11	厚	農薬 クロルデン☆	1
2010/8/12	厚	農薬 ハロキシホップ☆	1
2010/9/13	厚	農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆	2
2010/9/27	厚	農薬 酸化フェンブタズ☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2010/11/12	厚	農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビンクロゾリン☆、モノクロトホス☆	8
2010/11/15	農	農薬 テルブホス〈飼〉☆	1
2010/12/10	厚	農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆	2
2010/12/10	厚・農	農薬及び動物用医薬品 メトプレン☆〈一部〈飼〉〉	3
2011/1/24	厚	農薬 ペンコナゾール☆	1
2011/1/24	厚	動物用医薬品 セフロキシム☆[肥]	1
2011/2/10	厚	農薬 エンドスルファン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆	3
2011/3/25	厚	農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、プロモキシニル☆	3
2011/3/25	厚	動物用医薬品 ジミナゼン☆	1
2011/4/19	厚	添加物 カルミン	1
2011/4/25	農	農薬 プロモキシニル☆〈飼〉	1
2011/9/22	厚	農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、2,4-DB☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆	11
2011/10/11	厚	農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆	7
2011/10/11	農	農薬 アトラジン☆〈飼〉	1
2011/11/18	厚	農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆	3
2011/12/19	厚	プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し(オランダ)	1
2012/1/23	厚	農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆	2
2012/1/23	農	農薬 エチオン☆〈飼〉、ホレート☆〈飼〉、シハロトリン☆〈飼〉、ジクロルボス及びナレド☆〈飼〉	4
2012/1/23	厚	動物用医薬品 スルファジミジン☆[肥]	1
2012/3/26	厚	農薬 リムスルフロン☆	1
2012/3/26	厚	農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆	2
2012/5/21	厚	農薬 4-クロルフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆	3
2012/7/18	厚	農薬 テフルトリン☆	1
2012/8/21	厚	農薬 フサライド☆、フルスルファミド☆	2
2012/9/18	厚	農薬 メコプロップ☆	1
2013/1/22	農	農薬 クロルピリホスメチル☆〈飼〉、クロルフェンビンホス☆〈飼〉、シマジン☆〈飼〉、パラチオン☆〈飼〉	4
2013/1/30	厚	農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆	2
2013/3/12	厚	農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆	12
2013/3/12	農	農薬 ピリミホスメチル☆〈飼〉	1
2013/4/2	厚	プリオン プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について※	1
2013/6/10	農	農薬 γ-BHC☆〈飼〉、ジメトエート☆〈飼〉、パラコート☆〈飼〉、メチダチオン☆〈飼〉	4
2013/6/12	厚	農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、パラコート☆、フルキンコナゾール☆	7
2013/8/20	厚	農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニユロン☆	8
2013/8/20	厚	農薬及び動物用医薬品 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆[肥]	2
2014/9/9	厚	農薬 ピラゾリネート☆	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2015/1/8	厚	プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓 ※	1
2015/5/14	厚	プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/9/30	厚	プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※	1
2015/12/18	厚	プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し※	1
2017/4/19	厚	農薬 ピレトリン☆	1
2017/8/3	厚	プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓 ※	1
2017/11/30	厚	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（食品）■	1
2017/12/19	農	遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマト（TU-IP105B-1）（飼料）■	1
2018/7/4	農	動物用医薬品 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノア1%プレミックス及び同10%プレミックス）■[耐]	1
2019/1/10	厚	添加物 25-ヒドロキシコレカルシフェロール■	1
2019/2/27	農	動物用医薬品 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）■[耐]	1
2019/10/24	厚	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■	2
2020/2/13	厚	動物用医薬品 ジニトルミド ☆[肥]	1
2020/3/17	厚	動物用医薬品 グリカルピラミド☆、クロステボル☆、ジブチルサクシネート☆、チオプロニン☆、トリブロムサラン☆、ノルジエストメット☆、ヒドロコルチゾン☆、マホプラジン☆	8
2020/3/17	厚	飼料添加物 オルメトプリム☆、ジアベリジン☆、スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダブソン☆、ピリメタミン☆アンプロリウム☆、エトパベート☆、スルファキノキサリン☆、エンラマイシン☆	11
2020/5/13	厚	プリオン 「ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓」※	1
2020/9/24	厚	Ra α 3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■	1
2020/9/24	厚	RG-V1株を利用して生産されたL-バリン■	1
2020/10/16	農	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（飼料）■	1
2020/10/19	厚	遺伝子組換え食品等 長鎖多価不飽和脂肪酸含有及びイミダゾリノン系除草剤耐性セイヨウナタネLBFLFK（食品）■	1
2021/1/7	厚	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（食品）■	1
2021/1/12	農	遺伝子組換え食品等 線虫抵抗性及び4-ヒドロキシフェニルピルビン酸ジオキシゲナーゼ阻害型除草剤耐性ダイズGMB151（飼料）■、収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP202216）（飼料）■	2
2021/2/4	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（飼料）■	1
2021/2/9	厚	遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP23211）（食品）■	1
2021/4/22	厚	遺伝子組換え食品等 Bacillus subtilis NT104（pHYT2TD）株を利用して生産されたα-グルコシルトランスフェラーゼ■	1
2021/5/14	農	遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（飼料）■、DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ（NS-B50027-4）（食品）■、JPAo007株を利用して生産されたカルボキシペプチダーゼ■、JPAo008株を利用して生産されたアミノペプチダーゼ■	4
2021/8/10	農	飼料添加物 L-イソロイシン■	1
2021/8/25	厚	農薬 グルホシネート■	1
2021/8/30	農	遺伝子組換え食品等 除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統（飼料）■	1

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

接受日	要請元	食品健康影響評価の対象	
2021/9/28	厚	添加物 硫酸銅	1
2021/9/28	厚	遺伝子組換え食品等 JPAN004株を利用して生産された α -アミラーゼ■、CIT-No.1株を利用して生産されたL-シトルリン■、VAL-No.5株を利用して生産されたL-バリン■	3
2021/11/5	厚	遺伝子組換え食品等 DIDK-0176株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	1
2021/12/8	厚	農薬 1,4-ジメチルナフタレン■、アセキノシル■、トリネキサパックエチル■、トリフルミゾール■、ピラジフルミド■、フルエンシルホン■、フルトリアホール■、フロニカミド■	8
2021/12/8	農	動物用医薬品 動物用ワクチンの添加剤として使用する成分(硫酸マンガン)■	1

(注)

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

募集期間	対象となる審議結果（案）	
2021/10/13～2021/11/11	遺伝子組換え食品等 収量増加及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP202216)（食品）■	1
2021/10/27～2021/11/25	遺伝子組換え食品等 JAPAN009株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■	1
2021/11/4～2021/12/3	農薬 フロラスラム■	1
2021/11/17～2021/12/16	添加物 L-酒石酸カルシウム★	1
2021/12/1～2021/12/30	肥料・飼料等 ナイカルバジン☆、ナイカルバジン■、フェロシアン化カリウム★、除草剤ジカンバ耐性セイヨウナタネMON94100系統(食品)■	4
2021/12/8～2022/1/6	遺伝子組換え食品等 MAM株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	1
2021/12/15～2022/1/13	肥料・飼料等 クロキサシリン☆	1
2021/12/15～2022/1/13	動物用医薬品 オルトジクロロベンゼン☆	1
2021/12/15～2022/1/13	遺伝子組換え食品等 JPBL008株を利用して生産されたα-アミラーゼ■、JPBL009株を利用して生産されたα-アミラーゼ■、JPBL010株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	3

(注)

★は案件については意見募集は終了している。

☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。

※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。

■印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。

◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。

[肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。

[耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	食品健康影響評価の対象	
2021/4/13	薬剤耐性菌 亜鉛バシトラシン（薬剤耐性菌）※	1
2021/4/13	遺伝子組換え食品等 JPBL006株を利用して生産されたキシラナーゼ■	1
2021/4/13	農薬 ペンディメタリン■、ペンディメタリン（飼料中）■	2
2021/4/27	動物用医薬品 アルベンダゾール■	1
2021/4/27	遺伝子組換え食品等 JPAo004株を利用して生産されたキシラナーゼ■、JPAo005株を利用して生産されたキシラナーゼ■、JPBL004株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、JPBL005株を利用して生産されたホスホリパーゼ■	4
2021/5/11	肥料・飼料等 ハロフジノン☆、マデュラマイシン☆、ロベニジン☆	3
2021/5/18	農薬カズサホス■、クレトジム■、フェナザキン■	3
2021/5/25	農薬 ウニコナゾールP■、ブロフラニド■	2
2021/5/25	食品、添加物等の規格基準（昭和34年厚生省告示第370号）のゲンチアナバイオレット試験法及び酢酸トレンボロン試験法の追加	1
2021/6/1	遺伝子組換え食品等 Morph TG#626株を利用して生産されたα-グルコシダーゼ■、JPTR003株を利用して生産されたムラミダーゼ■、JPAN003株を利用して生産されたグルコアミラーゼ■、JPAN007株を利用して生産されたヘミセルラーゼ■、BML780 MDT06-221株を利用して生産されたα-アミラーゼ■	5
2021/6/8	農薬 シフルトリン（飼料中）☆	1
2021/6/8	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン☆	2
2021/6/8	農薬及び動物用医薬品 シフルトリン	1
2021/6/8	農薬 ポリオキシン（ポリオキシンD亜鉛塩及びポリオキシン複合体）■（一部☆）、プロパルギット■	3
2021/6/8	動物用医薬品 アルベンダゾールを有効成分とするすずき目魚類の飼料添加剤（スポチール100）■、エトキサゾールを有効成分とする牛の皮膚投与剤（ダニレス）■、性腺刺激ホルモン放出ホルモン・ジフテリアトキシイド結合物を有効成分とする豚の注射剤（インプロバック）■	3
2021/6/15	農薬 オキサチアピプロリン■、ピリベンカルブ■、ベンチアバリカルブイソプロピル■	3
2021/6/15	農薬及び動物用医薬品 スピノサド■	1
2021/6/15	動物用医薬品 プラジクアンテルを有効成分とするくろまぐろを含むすずき目魚類用飼料添加剤（水産用ベネサル、ハダクリーン）■	1
2021/6/22	薬剤耐性菌 スルファキノキサリン※、スルフォンアミド系合成抗菌剤※	2
2021/6/22	農薬 ベンタゾン☆、ベンタゾナー、ベンタゾン（飼料中）☆、フェナリモル☆、ホラムスルフロム■、MCPA■	6
2021/6/22	農薬及び動物用医薬品 はちみつへの農薬・動薬残留基準設定	1
2021/6/22	遺伝子組換え食品等 JPAN005株を利用して生産されたペクチナーゼ■	1
2021/6/22	肥料・飼料等 バシトラシン☆、Trichoderma reesei JPTR003株を用いて生産されたムラミダーゼ濃縮物・精製物を原体とする飼料添加物■、安息香酸■、安息香酸を有効成分とする飼料添加物■	3
2021/6/29	農薬 ピラフルフェンエチル■、フルフェノクスロン■	2
2021/6/29	化学物質・汚染物質 鉛（清涼飲料水）	1

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	食品健康影響評価の対象	
2021/6/29	器具・容器包装 鉛	1
2021/6/29	遺伝子組換え食品等 除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統（食品）■、除草剤グリホサート誘発性雄性不稔並びに除草剤ジカンバ、グルホシネート、アリルオキシアルカノエート系及びグリホサート耐性トウモロコシMON87429系統（飼料）■	2
2021/7/28	農薬 1-ナフタレン酢酸■、シアントラニリプロール■	2
2021/7/28	農薬及び動物用医薬品 エトキサゾール■	1
2021/8/4	農薬及び動物用医薬品 ペルメトリン■	1
2021/8/24	農薬 フェンピロキシメート■、メトミノストロビン■	2
2021/8/24	遺伝子組換え食品等 pPDX株を利用して生産されたホスホリパーゼ■、除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性カラシナRF3■	2
2021/8/31	肥料・飼料等 アンピシリン☆、アンピシリンナトリウム■	2
2021/8/31	動物用医薬品 クマホス☆	1
2021/8/31	肥料・飼料等 フェノキシメチルペニシリン☆	1
2021/8/31	遺伝子組換え食品等 JPAo003株を利用して生産されたりパーゼ■、DSM32805株を利用して生産されたキモシン■、JPAN006株を利用して生産されたりパーゼ■	3
2021/8/31	農薬 スルホキサフロル■、フルアジナム■、ピコキシストロビン■	3
2021/9/7	農薬 テトラニリプロール■、ペンチオピラド■	2
2021/9/15	動物用医薬品 イベルメクチン及びプラジクアンテルを有効成分とする馬の経口投与剤（エクイバランゴールド）■	1
2021/9/29	動物用医薬品 ルバベグロン■	1
2021/10/5	農薬 アフィドピロペン■	1
2021/10/5	添加物 炭酸水素カリウム	1
2021/10/6	農薬 ペンシクロン■	1
2021/10/6	肥料・飼料等 カルバドックス☆、ニフルスチレン酸ナトリウム☆、ロキササルソン☆	3
2021/10/26	農薬 テトラコナゾール■、フロメトキン■	2
2021/10/27	肥料・飼料等 草木由来のバイオマス燃焼灰及び熔成けい酸質肥料■	1
2021/11/2	農薬 イプロジオン☆■	2
2021/11/2	遺伝子組換え食品等 LFS 株を利用して生産されたりパーゼ■	1
2021/11/16	農薬 アブシシン酸（対象外物質）■、エトフェプロックス■	2
2021/11/16	動物用医薬品 鶏コクシジウム感染症（ブルネッティ・ネカトリックス）混合生ワクチン（日生研鶏コクシ弱毒2価生ワクチン（BN））■	1
2021/12/2	動物用医薬品 塩化ジデシルジメチルアンモニウム☆	1
2021/12/2	動物用医薬品 ニタルソン☆	1
2021/12/8	動物用医薬品 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の5第1項の規定に基づく農林水産省令の改正について、牛伝染性鼻気管炎・牛パラインフルエンザ混合生ワクチン（ティーエスブイ2）	2

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの（令和3年度）

通知日	食品健康影響評価の対象
2021/12/21	遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統(食品) ■、チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON95379系統(飼料) ■ 2

(注)

- ☆印は、ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件である。
- ※印は、食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件である。
- 印は、企業申請案件である（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）。
- ◎印は、食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価である。
- [肥]印は、肥料・飼料等専門調査会が担当する評価案件である。
- [耐]印は、薬剤耐性菌に関する評価が必要なもの。

IV その他

通知日	通知先	件名
2004/1/30	厚・農・環	遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2004/3/18	農	普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方
2004/3/25	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準
2004/5/6	厚・農・環	遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方
2004/8/5	厚・農	特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方
2004/9/30	農	家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針
2005/4/28	厚・農・環	遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方
2006/6/29	厚・農	暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順
2007/9/13	厚・農	食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版）
2008/6/26	厚・農・環	遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準
2010/5/27	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針
2016/5/17	厚	香料に関する食品健康影響評価指針
2017/7/18	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針
2018/4/10	厚・農	動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針
2018/9/25	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2019/5/28	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針
2019/10/1	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針
2019/10/29	厚・農	食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針
2019/11/13	厚・農	遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方
2020/3/24	厚・農	食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正
2020/6/16	厚・農	残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて
2020/7/7	厚・農	暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について
2020/10/6	厚	食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/4/6	厚・農	残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂）
2021/5/18	厚・農	飼料添加物に関する食品健康影響評価指針
2021/9/29	厚	添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正）